

第 56 回産応協セミナー開催報告

第 56 回産応協セミナーは、2025 年 1 月 15 日（水）に、WebEX による Webinar 方式で開催されました。今回のテーマは、「データ駆動型研究の最前線」、副題として「サロゲートモデル/クローズドループ型自律実験：AI による設計・開発プロセスの革新」でした。今回の参加者は、50 名でしたが、実際の設計・開発に結び付きそうな講演内容であり、各講演後大変熱心な質疑応答が多数行われました。

《アジェンダ》

1. データ駆動型アプローチの熱流体工学への応用とその展望
東京大学生産技術研究所 教授 長谷川洋介先生
2. 物理法則に基づくニューラルネットワーク法を用いた電磁界解析の取り組み
埼玉工業大学大学院工学研究科情報システム専攻純教授 藤田和広先生
3. 土木DXを推進するためのスパコン・機械学習の基盤づくり
九州大学工学研究院社会基盤部門 准教授 浅井光輝先生
4. デジタル技術によるクローズドループを用いた材料設計とプロセス開発
奈良先端科学技術大学院大学
データ駆動型サイエンス創造センター物質創成科学領域教授 藤井幹也先生

以 上